

令和元年度

事業報告書及び決算報告書

自 平成31年 4月 1日
至 令和 2年 3月31日

公益財団法人千歳青少年教育財団

目 次

令和元年度事業報告書	1
I 公益目的事業	2
◇ 教育事業	2
1 学習講座開設事業	2
2 社会教育関連事業	4
3 教育機関支援事業	5
◇ 水族館管理運営事業	6
1 水族館管理運営事業	6
2 年間パスポート会員の加入促進	12
3 情報提供活動	13
4 新型コロナウイルスなどの感染予防対策について	13
II 役員に関する事項	15
III 職員に関する事項	16
IV 理事会・評議員会の開催状況	17
1 理事会	17
2 評議員会	17
令和元年度決算報告書	19
I 貸借対照表	21
II 正味財産増減計算書	22
III 財務諸表に対する注記	26
IV 財産目録	31
V 収支計算書	34
VI 収支計算書に対する注記	49
令和元年度監査報告書	
参考資料	

令和元年度事業報告書

令和元年度の公益財団法人千歳青少年教育財団は、千歳市及び北海道における社会教育の振興に寄与することを目的に、青少年の健全育成を図るため必要な事業を行う教育事業と、水族館施設の管理運営に関する事業を行う水族館管理運営事業から成る公益目的事業を計画に基づき実施しました。

以下、各事業の概要について報告します。

『教育事業』については、学習講座開設事業として、千歳水族館に宿泊しながら、夜の水槽観察や早朝の千歳川サケ遡上観察などを行う「サーモン・ツアー ～早起きはサーモンの徳～」や、サケの生態や水生生物などに関する体験プログラムを行う「サケふるセミナー」などの千歳水族館学習事業を実施しました。

ジュニア・リーダー及びシニア・リーダー活動事業では、子ども会活動の中心的な役割を果たすリーダーを育成するための研修のほか、学習事業や町内会事業等への支援活動などを行いました。

また、集団生活を通じて子どもたちが団体生活の規律や自立を身に付けることを目的とした自然教室や冬休み体験教室を国立日高青少年自然の家において多くの参加者により実施しました。

社会教育関連事業では、千歳市子ども会育成連合会との共催事業として、緑の村キャンプ大会やちとせつ子雪あそびなどを開催し、多くの子どもたちの参加がありました。

教育機関支援事業では、総合的な学習などに対応したサケ稚魚放流体験など多様な学習活動への協力や、学芸員講師を派遣するとともに、職業体験では市内中学校から生徒の受入れを実施しました。

次に、『水族館管理運営事業』については、テレビ・ラジオなどによる広報・PRや国内外への営業活動、特に札幌市を中心とした近隣市町の福祉施設等への直接訪問など入館者拡大に努めたところ、7・8月の九州北部豪雨や猛暑の影響を多少受けたものの、サケの遡上する9月以降は盛況となり、1月までは前年を大きく上回る入館者数で推移しました。しかし、1月末に発生した新型コロナウイルス感染拡大の影響により、団体旅行の予約キャンセルが相次いだほか、北海道の緊急事態宣言による週末の外出自粛の影響を受け、2月、3月の入館者は大幅に減少した結果、総入館者数は昨年度を3千人程上回る258,376人となりました。

また、9月には累計入館者数500万人を達成し、10月には千歳水族館開館25周年・国際サーモン年記念事業として「さかなクントークショー」を開催しました。

常設展示では、サケ科魚類を中心とした水槽展示や千歳川護岸利用の水中観察ゾーン、タッチプールなどの体験コーナーなど、企画展示では体が透明な生き物やカラフルな生き物を展示した夏季企画展「集まれ！透けスケいろ色展」のほか、多くの展示を実施しました。また、季節展示として回帰した親魚の展示やグラスツリーによる発眼卵の展示を実施しました。

体験学習及びイベントでは、バックヤードツアーやサケ稚魚放流体験のほか、季節にちなんだイベントを多数の参加者により実施しました。

次に、年間パスポート会員については、個人は大人の料金改定の影響から目標を若干下回る結果となりましたが、その反面、一般入館料収入が増加しました。また法人は目標を大きく上回る加入がありました。

最後に、令和元年度の収支決算においては、公益目的事業会計及び法人会計を合わせた事業活動収支の部については、収入が228,977,666円に対して、支出が196,812,865円、投資活動収支の部については、投資活動収入0円に対して、投資活動支出が28,114,565円、財務活動収支の部については、財務活動収入0円に対して、財務活動支出が3,856,248円となり、合算すると収入総額は228,977,666円、支出総額は、228,783,678円となります。これにより、差引き193,988円が当期収支差額となり、前期繰越収支差額197,013円を加えた391,001円が次期繰越収支差額となりました。

以下、事業内容及び収支決算の詳細は別紙のとおりです。

事業報告書

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

I 公益目的事業

◇ 教育事業

定款第4条第1項第1号及び第2号に掲げる事業を、次のとおり実施した。

1 学習講座開設事業

(1) 千歳水族館学習事業

ア アクアリウムナイトツアー

8月1日(木)から2日(金)までの1泊2日で、抽選によって選ばれた小学4年生から中学1年生27名とシニア・リーダー13名が参加し、水族館のバックヤード探検や夜の水族館探検、飼育係体験、千歳川自然観察会などを通して、水族館の魚や川の生物、自然環境などについて学習した。

イ サーモン・ツアー ～早起きはサーモンの徳～

9月28日(土)から29日(日)までの1泊2日で、小学校4年生から中学1年生までの26名とシニア・リーダー7名が参加し、大水槽エサやり体験、サケ調理教室(石狩鍋、ちゃんちゃん焼きなど)、早朝サケの遡上見学等、様々な角度からサケについて学習した。

ウ サケふるセミナー

サケの生態や水生生物などに関する体験プログラムを合計9回実施し、延べ198名が参加した。

実施内容は次のとおり。

6月 9日(日)	ミニ水族館作り	
	「エゾサンショウウオを飼ってみよう」	9名
6月29日(土)	ミニ水族館作り「スジエビを飼ってみよう」	3名
9月23日(月・祝)	サケの採卵体験	31名
9月28日(土)	サイエンスターリング「サケのサケ発掘体験」	8名
10月 6日(日)	サケの採卵体験	29名
10月22日(火・祝)	サケの採卵体験	28名
11月 3日(日・祝)	サケの採卵体験	31名
11月17日(日)	サケの採卵体験	31名
12月 8日(日)	サケの採卵体験	28名

(2) ジュニア・リーダー活動事業

ア ジュニア・リーダー講習会

子どもたちによる子ども会活動の活性化を目指し、活動の中心的な役割を果たすリーダーを育成するため、前期講習会を4月27日(土)と5月26日(日)の2回、北ガス文化ホールにおいて実施した。シニア・リーダー延べ12名が講師となり、初級、中級、上級に分かれて延べ17名が創作活動や講話、実技などの講習を受講した。

また、夏季のキャンプ大会や自然教室などシニア・リーダーの活動事業後の8月24日(土)に3回目の講習会をシニア・リーダー3名の講師により実施したところ、事業参加者を中心に新規8名を含む10名が参加し、受講者の増加を図ることができた。

後期講習会は12月14日(土)から15(日)までの1泊2日でネイパル深川において、2回目は2月22日(土)に千歳水族館において、初級、中級、上級合わせてジュニア・リーダーが22名、シニア・リーダーが延べ12名参加して、創作活動やレクリエーションの実践研修などを実施した。

(3) シニア・リーダー活動事業

- ア 2019全国子ども会ジュニア・リーダー研究集会
7月13日(土)から15日(月・祝)までの3日間、東京都(国立オリンピック記念青少年総合センター)において、全国33都道府県の中学3年生から高校3年生までのジュニア・リーダー90名が参加、交流した。シニア・リーダー「つばさ」からは高校1年生1名が参加して、子ども会におけるジュニア・リーダーの活動や意義を考え、活動するのに必要なスキル、コミュニケーション能力などを学んだ。
- イ わくわく体験教室
シニア・リーダーが講師となり、日頃の活動訓練の成果を発揮し、リーダーとしての資質向上を図ることを目的として、8月2日(金)のアクアリウムナイトツアー及び9月28日(土)のサーモンツアーの参加者を対象として2回実施した。それぞれ、牛乳パックを材料としたランタン作りと、サケ観察のための偏光メガネ作りを指導した。
- ウ 「入間市青少年の船」研修生との交流会
埼玉県入間市が実施する「入間市青少年の船」事業に参加した入間市の中学2年生22名が8月2日(金)千歳水族館を訪れ、当市のシニア・リーダー10名とアクアリウムナイトツアーに参加した小学4年生から中学1年生まで18名の計28名が、お互いの市の紹介やレクリエーションをしながら交流を深めた。
- エ 全道地域子ども会リーダー研修会
8月9日(金)から12日(月・祝)までの4日間、国立大雪青少年交流の家において、道内で活躍する高校生リーダーが、29市町村の小中学生152名が参加する「北海道子どもキャンプ」の活動を支援した。シニア・リーダー「つばさ」からは高校1年生1名と3年生1名の計2名が参加して、日頃の活動成果を発揮することにより、異年齢交流の促進やリーダーとしての資質向上を図った。
- オ ジュニアリーダーHokkaido
9月14日(土)から16日(月・祝)までの3日間、ネイパル深川において、道内4市町で活動するリーダー中高生10名が参加、交流した。シニア・リーダー「つばさ」からは高校1年生1名が参加して、他市町村の参加者との交流や「SDGs とまちづくり」について学び、理解を深めた。
- カ 「第7回千歳市民討議会」参加
10月20日(日)に北ガス文化ホールにおいて、千歳青年会議所の主催により「届け！若者の声『みんなで選挙に行こうよ』」をテーマとし開催された「第7回千歳市民討議会」に、シニア・リーダー「つばさ」から高校生リーダー2名が参加した。
- キ シニア・リーダー研修会
3月21日(土)から22日(日)までの2日間、日高青少年自然の家において、シニア・リーダー「つばさ」の会員が、参加・実施する各種行事や事業について、その企画立案、運営方法などを学び、他団体も含めた様々な事業への支援活動を担える力を養成するための研修会を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染予防のため中止とした。
- ク 市町村ジュニア・リーダー合同研修交流会
3月26日(木)から28日(土)までの3日間、ネイパル深川において、道内5市町のシニア・リーダーが集まり、レクリエーション技術や活動内容の紹介などを行い交流予定だったが、新型コロナウイルス感染予防のため中止となった。
- ケ 千歳水族館学習事業・社会教育関連事業・町内会事業への支援活動
シニア・リーダー活動で養った経験・資質を生かし、青少年育成に関わる様々な支援活動を行った。千歳水族館の社会教育事業に関連した19事業に延べ256名、8町内会の10事業に延べ70名が参加、支援した。

- (4) 自然教室
 集団生活を通じて団体生活の規律を身に付けることを目的に、8月7日(水)から8日(木)までの1泊2日で、国立日高青少年自然の家にて小学4年生から中学1年生まで25名とシニア・リーダー7名が参加して、沙流川ラフティングやドラム缶でのピザ作り、レクリエーションなどを行った。
- (5) 冬休み体験教室
 国立日高青少年自然の家において、集団宿泊生活を通して子どもたちの自立と精神的成長を促すことを目的に、1月7日(火)から9日(木)まで、小学4年生から中学1年生まで26名とシニア・リーダー10名が参加して実施した。手作りカルタ大会やスポーツレクリエーションなど参加者同士の交流を図るとともに、スキー教室やアイスクリーム作り、雪合戦など冬ならではの事業を実施した。
- (6) 体験学習
- ① 千歳の味覚を味わおう ハスカップ摘み&ジャム作り
 千歳市特産の食材に対する関心や知識を深めることを目的に、6月30日(日)に小学3年生から中学1年生までの16名と、シニア・リーダー4名が参加して、市内の農園でハスカップを収穫し、ジャム作りを体験した。
- ② 支笏湖カヌー体験
 千歳の豊かな自然を体験することを目的に、9月1日(日)に小学4年生から中学1年生までの9名とシニア・リーダー1名、博物館学芸員実習生1名の計11名が参加して、支笏湖から流出口付近の千歳川でカヌー体験を実施した。

2 社会教育関連事業

- (1) 千歳青少年育成推進員の設置
 市内の地域における児童の健全育成対策及び子ども会等青少年育成活動の推進を図るため、千歳青少年育成推進員を設置し、社会教育関連事業や地域の子どもの活動に協力した。
- (2) ラジオ体操講習会（千歳市子ども会育成連合会共催事業）
 7月7日(日)に千歳第二小学校体育館において、NHKラジオ・テレビ体操の指導者・岡本美佳先生及びアシスタント・吉江晴菜先生をお迎えして開催した。町内会や青少年育成活動の支援者等54名が参加し、ラジオ体操の目的や理論、また正しい形や動作の指導方法について学んだ。
- (3) 緑の村キャンプ大会（千歳市子ども会育成連合会共催事業）
 仲間との宿泊生活、野外活動や自然の探求を通して、協力し助け合い励まし合う仲間づくり、自然を愛する豊かな心の育成、他の地域の子どもの会との交流を目的に、青葉公園ピクニック広場において2回開催し、いずれも100名を超える参加があった。
- | | | | |
|-----|-----------------------|-------|----------|
| 第1回 | 7月20日(土)～21日(日) | 町内会主催 | |
| | (対象：町内子ども会の会員) | | 参加者 127名 |
| 第2回 | 7月26日(金)～28日(日) | 千子連主催 | |
| | (対象：小学校高学年から中学校3年生まで) | | 参加者 101名 |
- (4) ちとせの子どもクリスマスの集い（千歳市子ども会育成連合会共催事業）
 12月1日(日)、末広小学校において、市内の幼児から小学6年生まで90名が参加し、シニア・リーダーが中心となり、巨大クリスマスケーキのデコレーション、壁絵作りの創作活動やレクリエーション、キャンドルサービスなどを行い、相互の親睦を深めた。

(5) ちとせっ子雪あそび（千歳市子ども会育成連合会共催事業）

2月2日(日)、サーモンパークにおいて、市内と近郊の小学1年生から中学2年生まで88名が参加して雪上レクリエーションを実施し、冬期間の子どもたちの体力向上と交流を図った。

3 教育機関支援事業

(1) 総合的な学習などへの協力

来館した千歳市内の幼稚園及び小・中学校等の学習活動に対応し、合計26回、延べ1,375名を受け入れ、「サケ稚魚放流体験」、「採卵と人工授精体験」、「アイヌ文化学習」、「水生生物観察会」などを実施した。また、市外の小・中・専門学校、大学等については延べ99校、7,511名を受け入れ、研修を実施した。

学芸員が直接学校へ出向いて講義する講師派遣は、市内の小学校及び幼稚園4施設において、千歳川の生き物やサケのふ化観察学習などのテーマで12回、延べ993名に実施した。

また茨城県の長堀小学校に対し、当館来館時におけるサケの生態や水族館の仕事に関する質問対応を中心に、Skypeを利用した遠隔授業を4回実施した。

社会教育施設においては、市立図書館事業「青葉の森の水族館」に5月17日(金)から31日(金)まで移動水族館の展示協力をを行い、また、5月26日(日)には「千歳水族館館長ーサケを語る」と題した講演会を実施した。

(2) 職業体験への協力

学芸員資格取得のための博物館実習で3大学3名、インターンシップで1大学1名を受け入れた。また、小中学校の職業体験では、千歳市内と札幌市内の7中学校から計19名の生徒を受入れた。

(3) 「サケ稚魚による子どもたちの交流事業」への協力

千歳中央ライオンズクラブが主催する、サケ稚魚のふ化放流を仲立ちとした岡山市と千歳市の児童・幼児の相互交流事業に協力した。岡山の児童を招いての放流式は新型コロナウイルス流行のため中止となったが、代わって千歳中央ライオンズクラブ会員により、岡山で育てたサケ稚魚を千歳水族館にて放流する様子を撮影し、岡山の担当学校に報告した。

(提供：サケ卵900粒)

1月7日(火)： 岡山市出発へ向けてサケ使節団結団式

3月23日(月)： 千歳中央ライオンズクラブの会員が千歳川へサケ稚魚放流

(4) 各種生涯学習関連事業への協力

11月10日(日)に北ガス文化ホールにおいて開催された「青少年のための科学の祭典千歳大会2019」に、千歳水族館が「人工イクラ作り」、千歳サケのふるさと村教授会が「サケ皮クラフト体験」のブースをそれぞれ出展した。

また、1月9日(木)、10日(金)に札幌市の地下歩行空間において開催された「第8回CISEサイエンスフェスティバル」に、「サケ皮クラフト体験」のブースを出展した。

◇ 水族館管理運営事業

定款第4条第1項第3号に掲げる事業を、次のとおり実施した。

1 水族館管理運営事業

(1) 常設展示

ア 水槽展示

サケ科魚類を中心に、淡水・汽水域に生息する水生生物約80種を水量266トンの大水槽をはじめ大小約40基の水槽で展示。国内だけでなく海外の淡水魚類や甲殻類、サンショウウオやカメなどの両生・は虫類、鳥類のカイツブリや水生植物など、河川生態系を構成する生物種を幅広く展示し、生物の多様性や水生生物への興味関心を深めた。

イ 体験コーナー

ウグイ属やチョウザメ類を中心とした全面アクリルのタッチプールや、ドクターフィッシュ（ガラ・ルファ）の体験水槽、アメリカザリガニの釣堀（不定期）のほか、インディアン水車の模型を設置したドーナツ型の流水水槽などにより、来館者が水辺の生き物をより身近に感じることができる場を設けた。

ウ 大型スクリーン解説映像

千歳川を中心に撮影したサケの生活史や、さけ・ます人工ふ化放流事業などについて、およそ100インチの映像で解説。映像は2つのブースで上映し、日本語だけでなく英語の音声解説と繁体字、簡体字の字幕により、海外からの来館者にも対応した。

エ 水中観察ゾーン

千歳川の護岸を利用した水中観察施設において、サケの生態や水中観察室における観察記録などに関する解説コーナーを設置し、DVDやコンピュータを用いた映像機器なども利用し、千歳川の生物やその営み、環境の変化などについて紹介し、より深い理解を図った。

オ なるほど！？サーモンルーム（展示・学習ゾーン）

千歳とサケと人との関わりについて食文化を中心に解説。サケ漁の歴史や資源増加を図るための人工ふ化放流事業、アイヌ文化におけるサケ料理や各地域の伝統的なサケ料理法などのほか、様々なサケ料理のレシピも紹介した。また自由に閲覧できる、子ども向けの絵本や図鑑のコーナーも設置した。

カ 学習室

液晶プロジェクターや50インチプラズマディスプレイなどの映像機器を設置し、稚魚放流体験の解説、採卵実習など各種体験教室の場として、また幼稚園や学校など団体の見学時における講話や雨天時の昼食場所などのほか、各団体における会議の利用など、幅広い活用を図った。

(2) 企画展示

ア 企画展示

① 切り絵展「かじさやか切り絵展・作品展」

2月1日(金)から4月7日(日)まで、切り絵作家・漫画家のかじさやかさんが作った切り絵作品と漫画作品を計47点展示した。

② 写真展「鮭(カムイチェプ)をめぐる千歳のアイヌ文化」

4月13日(土)から6月30日(日)まで、千歳市在住の医師で写真家の^{つがみね}榎嶺レイさんにより撮影された、千歳のアイヌ文化を紹介する写真40点を展示した。

③ GW特別展「ゴールドンスピーシーズ～黄金生物～」

4月20日(土)から5月31日(金)まで、ゴールデンウィークのゴールデンにかけて、名前に「金」と付く魚や体色が「金色」の魚を15種類展示した。

④ 夏季企画展「集まれ!透けスケいろ色展」

7月13日(土)から9月1日(日)まで、体が透明な生き物やカラフルな生き物を集め、当館初展示となる種類も含め40種を展示した。また、体験イベント「グミガエルのおなかを近くから見てみよう」や「透明標本風ストラップ作り」も実施した。

- ・グミガエルのおなかを近くから見てみよう 期間中毎週日曜日 計8回 1,634名
- ・透明標本風ストラップ作り
7月27日(土) 17名
8月10日(土) 21名
8月17日(土) 32名

⑤ 写真展「アラスカのサケたち(カラフトマス編&ベニザケ編)」

9月6日(金)から10月6日(日)まで、安井健太郎氏がアラスカで撮影したカラフトマスをテーマに“海と森をつなぐ旅”及びベニザケをテーマに“碧き川を染めし紅”を開催し、計31点の写真を展示した。

⑥ 高橋玲香絵画作品展「花、鳥、魚を描く」

12月14日(土)から2月29日(土)まで、画家・高橋玲香氏が描いたアクリル絵の具による絵画作品34点を展示した。

イ サケの成長過程による季節展示

サケ属親魚の産卵遡上にあわせ、秋季にサケ属3種の回帰親魚を展示した。

- ・サケ : 8月31日～12月13日
- ・カラフトマス : 8月30日～10月3日
- ・ベニザケ : 9月5日～12月13日

クリスマスシーズンには、サケの発眼卵をシャンパングラスに入れ、グラスツリーによる展示を行い来館者の興味を惹いた。

- ・サケの発眼卵 : 11月19日～1月13日

ウ 季節ごとの企画水槽展示

季節の行事等に合わせた3種の企画テーマ水槽を千歳川水中観察ゾーンに設置した。

- ・ハロウィン水槽 : 10月5日～10月31日
- ・サモン神社と干支水槽 : 1月2日～1月13日
- ・サモン神社と恋愛成就 : 2月1日～3月15日

(3) 各種体験学習及びイベント

ア バックヤードツアー

希望する団体等に、水族館の裏側探検や餌やり体験などを行うバックヤードツアーを実施し、学校や一般団体など29団体1,015名が体験した。

イ サケ皮クラフト工房

サケ皮を使ったしおりの製作を通じ、アイヌ文化の一端に触れる体験学習で、4学校80名が体験した。

ウ サケ稚魚放流体験

平成31年4月1日から令和元年6月30日まで及び令和2年3月1日から3月31日までの期間中、延べ24,952名の来館者がサケの回遊ルートや生態解説の後、サケ稚魚の放流を体験した。

エ 季節のイベント・体験

ゴールデンウィーク、ハロウィン、鮭の日、クリスマスなどの季節行事に合わせ、より楽しみながら見学できる参加型のイベントを実施した。

① 飼育の日イベント

(公社)日本動物園水族館協会が動物園・水族館の役割について広く普及啓発を図るために定めた4月19日の「飼育(419)の日」に「大水槽エサやり体験」を参加費無料で実施した。

② ゴールデンウィークイベント

5月3日(金・祝)から5月6日(月・祝)までの4日間、「サケふる・春の縁日」として、次の事業を実施した。

- ・5月3日～5月6日 「スジエビすくい」や「館内クイズラリー」(館内)
- ・5月3日～5月4日 アイヌの民族楽器「ムックリ」と「トンコリ」の演奏(館内 千歳アイヌ文化伝承保存会)
- ・5月3日～5月5日 アイヌ楽器「ムックリ」を作るワークショップ(館内)
「サケ稚魚すくい」及び「スーパーボール&ヨーヨーすくい」を有料で実施した。(館外特設会場)

③ サーモンフェスティバル

5月5日(日・祝)に開催したサーモンフェスティバルでは、千歳アイヌ文化伝承保存会の皆様によるエムシ(刀)を携えた踊りの披露後、1,000名が参加してサーモンパーク「せせらぎ水路」にサケ稚魚の放流を行った。

④ 花火大会でのイベント事業

7月20日(土)は道新花火大会(住吉ソフトボール場)の開催に合わせ開館時間を4時間延長し、午後5時以降は水槽照明を青色基調に変更し、給餌イベント「カモン・サーモン・晩ごはんだモン」も実施した。また水族館入口横テントでは、「ヨーヨーすくい(有料)」と売店グッズを販売した。

⑤ ホタルの夕べ

8月3日(土)から16日(金)までの14日間期間限定で、ホタルの点灯の体験会を実施し、延べ917名の来館者が参加した。

⑥ ハロウィンイベント

10月27日(日)に館内ゲームやサーモンパークでの仮装パレードを実施した。幼児から小学生まで84名と、同伴の保護者が参加し、仮装して来館する参加者も多く見受けられた。また、館内クイズラリーも実施し、290名が参加した。

⑦ 鮭の日イベント

11月9日(土)の「鮭の日」にちなみ、サケの親魚に触ることができる「サケタッチ」、サケ皮を使った「しおり作り」や「人工イクラ作り」、「サケのサケ発掘体験」を実施し、延べ489名が参加した。

⑧ クリスマスイベント

12月15日(日)及び21日(土)から25日(水)まで、クリスマスイベントを実施した。支笏湖大水槽でのサンタダイバーによる餌やりと記念撮影、大水槽でのサンタダイバーとの記念撮影では、延べ452名が参加し、大水槽でのビンゴ大会では延べ97名が参加した。また、有料で「スノードーム作り」や「ジェルキャンドル作り」、「大水槽エサやり体験」を実施し、計137名が参加した。

⑨ 新春イベント

- ・1月2日(木)の新春オープンにあわせ、先着500名の来館者にオリジナルチロルチョコと干支サモン君缶バッジを進呈した。
- ・1月3日(金)に2階学習室でもちつき大会やお汁粉のサービスを行い343名が参加した。
- ・1月2日(木)から13日(月・祝)まで、千歳川水中観察ゾーンに設置したサモン神社内で「初夢」を募集し、1,210名が応募、3名の初夢を今年中に実現(プレゼント)することとした。
- ・1月11日(土)から13日(月・祝)まで、入館者全員を対象とした抽選会を実施し、2,849名が参加した。

⑩ 初夢プレゼント

平成31年1月2日(水)から14日(月・祝)まで、サモン神社内で募集した初夢の応募者1,430名の中から、3名の初夢について以下のとおりプレゼントした。

- ・「大水槽前でクラシックギター演奏会」 7月28日
- ・「支笏湖水槽に潜水給餌体験」 8月29日
- ・「サケの解体と調理体験」 9月22日

オ ちょこっと体験

冬休みや春休み、土日祝日などに、有料で餌やり体験やバックヤードツアーなど、水族館飼育業務に関する体験を合計13回実施し、延べ127名が参加した。

カ その”サーモン”どこからきたの? 海と日本PROJECT

9月8日(日)に北海道大学及び回転寿司の北々亭千歳店と連携して学習室において開催した。親子連れなど31名が参加し、北海道大学の工藤准教授によるサケの講話や、北々亭によるサケの解体実演、寿司握り体験などを通じて、食材としてのサケ資源の現状について認識を深めた。

キ 入館者累計500万人記念セレモニー

9月27日(金)の14時30分頃、平成6年の開館時からの累計入館者数500万人を達成し、くす玉割や記念品贈呈など、記念セレモニーを実施した。

ク じゃらんnet遊び体験予約

じゃらん限定のネット予約体験で、バックヤードツアーや大水槽エサやりなど、水族館飼育業務の体験を4月から3月まで実施し、延べ1,115名が参加した。

ケ 釣り体験

屋外テントに簡易釣り堀コーナーを設置し、6月から8月の土・日・祝日を中心に有料で釣り体験を行い、延べ450名が参加した。

コ サケタッチ

水族館のバックヤードにおいて、千歳川に遡上した親ザケにさわることができる体験を11月23日(土・祝)に実施し、67名が参加した。

(4) 千歳水族館開館25周年記念・国際サーモン年記念事業

ア 「サーモンイラストコンクール」作品展

9月7日(土)から9月30日(月)まで、開館25周年記念イベントの開催に合わせ、サケのイラストを募集し、応募いただいた121点を10月12日(土)から11月30日(土)まで2階スロープにて展示した。また、さかなクン賞をはじめとする入賞者19名に記念品と賞状を贈呈し、うち上位入賞4名には、イベントステージにてさかなクンから賞状を授与した。

イ 「さかなクンのギョギョッとびっくり 北海道のさかなとサケのお話」トークショー

10月14日(月・祝)北ガス文化ホールにおいて、魚類学者・東京海洋大学准教授のさかなクンをお招きして、千歳川のサケや魚類について、イラストなどを使い、子どもから大人までわかりやすいトークショーを館長との共演で実施した。午前の部に1,173名、午後の部に1,123名の合計2,296名もの来場者があり、多くの市民及び道内外の皆様に、魚の生態のほか自然環境保全について理解を得ることができた。

ウ 3館制覇・フォトラリー

9月1日(日)から11月30日(土)まで、「標津サーモン科学館」、「札幌市豊平川さけ科学館」の協力の下、当館と合わせて道内のサケ水族館3館を巡るフォトラリーを実施した。参加者には各館に設置されたフォトスポットで写真を撮影し、SNSへの投稿を促した。3館制覇は17名で、各館長によるサイン寄せ書き色紙と各館のオリジナルグッズをプレゼントした。

(5) 入館者の拡大推進

ア 団体誘致活動

道内、道外及び海外の旅行代理店等へ教育旅行や団体旅行の誘致活動を実施した。

道内は札幌市内を中心とする15市町の旅行代理店や幼稚園・保育園・福祉施設・道の駅、道外は27都府県の旅行代理店に直接訪問し営業活動を実施したほか、北海道観光振興機構が道外で開催する北海道観光プロモーション(商談会)や北海道旅行説明会に参加した。

海外には千歳観光連盟や北海道観光振興機構が実施する海外プロモーションに参加し、3か国(マレーシア・シンガポール・インドネシア)において、商談会や旅行代理店への営業を実施した。

また、全国の高等学校及び道内小中学校約6,000校に体験内容などを紹介したサケのふるさと千歳水族館のPRパンフレットを送付した。

イ 情報媒体を利用した広告宣伝活動

Webメディアを利用したタイムリーな情報提供や、テレビ、ラジオ、雑誌などのメディアを有効利用した広告宣伝を実施するとともに、ホテル、レンタカー、観光施設等にポスターの掲示やPRパンフレットの配置を行った。

テレビ・ラジオやイベント等を通じた広告宣伝・PR活動は、次のとおり行った。

① テレビ・ラジオCM

放送機関	放送内容	放送期間	本数	合計
テレビ	稚魚放流	4月 8日 ~ 4月16日	19	297
	GW	4月24日 ~ 5月 4日	21	
	夏季企画展	7月 1日 ~ 7月25日	48	
	さかなクン	8月19日 ~ 9月14日	33	
	クリスマスイベント	12月 7日 ~12月25日	19	
	稚魚放流	3月25日 ~ 4月 7日	12	
ラジオ	水族館紹介	4月 2日 ~ 9月10日	145	

② RR活動

放送機関等	番組名	本数	合計
テレビ	どさんこワイド、今日ドキッほか	30	45
ラジオ	トピッカー、さっぽろ村ラジオほか	13	
ステージPR	スカイビア&YOSAKOI祭、千歳・支笏湖氷濤まつり	2	

ウ 多言語システムの導入

近年増加している海外からの小団体旅行（FIT）に対応するため、光IDシステム“Link Ray”を導入し、来館者が持参のスマートフォンやタブレットにインストールした専用のアプリを用いて展示水槽や生物についての解説を日本語、英語、中国語（繁体・簡体）、タイ語、韓国語の6言語で閲覧可能とした。

エ ネットワークカメラによるリアル映像配信

ホームページにおいて、水中観察窓及びインディアン水車の様子をインターネットによるライブ映像として配信を継続した。また、受付カウンター横に設置した大型モニターやスポットライト型プロジェクター画像により、当日のイベントや展示情報を紹介し来館者の入館を促した。

オ 市内小中学生年間パスポートの無料配布

平成31年3月22日（金）に北陽小学校で贈呈式を行い、市内の全小中学生に対し年間パスポートを無料で配布した。

カ 道の駅機能との連携強化

- ① 千歳市主催『アイヌの世界を旅するリアル謎解きゲーム「神の魚を手に入れろ」』謎解きキット持参者に割引料金を適用し、616名の利用があった。
12月20日（金）～1月13日（月・祝） 2月1日（土）～3月31日（火）
- ② ピザドゥとのコラボ企画として、当日のレシートや入館券の提示で双方間での割引料金を適用した。
- ③ 道の駅のスタンプラリー帳持参者に割引料金を適用し、196名の利用があった。

キ 来館者のサービス向上の取組

来館者の満足度向上及び千歳のPRを図るため、館内に売店を設置し、水族館のグッズや千歳の特産・名産品などを提供した。

また、千歳青年会議所の研修会など学習室等施設の利用が6件あった。

(6) サケのふるさと村教授会との連携（年度末会員数 32名）

平成7年から当館でボランティア活動を続け、令和2年3月で25周年を迎えた「千歳サケのふるさと村教授会」においては、館内の案内や展示解説等の活動を毎日行うほか、当館が実施するイベント行事に支援と協力をいただいている。

2 年間パスポート会員の加入促進

(1) 年間パスポート個人会員及び法人会員募集

毎月更新を迎える年間パスポート会員を対象に葉書による更新案内の送付や、会員を対象にしたプレゼント抽選会の実施など会員加入促進策を行ったほか、さかなクンがトークショーで描いたサケのイラストをデザインした開館25周年記念パスポート3種類を1月2日から販売した。

個人会員は、目標6,300人に対し6,040人であり、目標を下回った結果となった。

法人会員は、目標80社に対し114社となり、目標を上回る結果となった。

(単位 : 人・社 : 千円)

種 別		令和元年度		平成30年度		増 減	
区 分	年会費	会員数	金 額	会員数	金 額	会員数計	金額計
大 人	1,500	5,161	7741.5	5,547	8,320.5	△386	△579
高校生	1,500	14	21	22	33	△8	△12
小中生	500	865	432.5	884	442	△19	△9.5
計	—	6,040	8,195	6,453	8,795.5	△413	△600.5
法人	10,000	114	1,140	95	950	19	190
合計	—	6,154	9,335	6,548	9,745.5	△394	△410.5

3 情報提供活動

(1) 新聞連載

千歳民報に令和2年1月までの毎月第4金曜日、コラム「サモン君だより」を掲載した。また、北海道新聞千歳恵庭版のエッセイ欄「せせらぎ」に千歳水族館の展示生物や千歳の自然などの情報を5回掲載した。

(2) ホームページ・SNS

昨年度のホームページの国内アクセス件数は、北海道、東京、神奈川、大阪、愛知を中心に257,391件であった。また、海外では70カ国からのアクセスがあり、多い順に台湾、アメリカ、香港、タイ、韓国となっていた。また、主なSNSの投稿とフォロワー数の状況は、下表のとおりであった。

SNS名	投稿数	フォロワー数 (R2.3.31現在)
Twitter	227	2,891
Facebook	37	1,116
Instagram	166	1,028

(3) サモンメール

特別展示等のイベント案内や、水中観察ゾーンの状況等をメールマガジンにて、8回発行し、令和元年度末現在、登録者数は2,726名であった。

(4) Wi-Fi利用

Wi-Fi利用者は累計で2,922名であったが、日本語の利用が約65.7%、海外利用が34.3%ほどであった。内訳は英語が約13%、中国(繁体)語が約10%で、残りは中国(簡体)語、タイ語、韓国語などであった。

4 新型コロナウイルス感染予防対策について

北海道が2月28日(金)「新型コロナウイルス緊急事態宣言」を発表した後、館内では新型コロナウイルス感染予防のため、次の対応を実施した。

(1) 手指消毒用アルコールの設置およびアルコール掃除の実施

来館者用はエントランスホール・売店入り口、各階のトイレ手洗い場、体験ゾーンに、職員用は1階事務所、職員用トイレに設置して、手指消毒を実施した。また、アルコール掃除は階段の手すり、エレベーターのボタン、トイレのノブ、授乳室内などを重点に実施した。

(2) 定期的な換気の実施

通常の空調機による換気に加え、サケ稚魚放流体験や支笏湖大水槽のエサやり時など人が集まる時間帯を中心に、定期的に窓を開けて館内換気を実施した。

(3) サケ稚魚放流体験での対応

サケ稚魚の旅について学習室で解説を行う際、室内換気の他に、入室できる人数を減らして室内密度を下げて実施した。また、使用した放流カップは収集箱で回収後、エタノール消毒を行った。

(4) マスク着用

職員やボランティアは、必要に応じてマスクを着用して接客等を行なった。

※ 令和元年度 入館者状況

令和元年度はリニューアル後5年目となる中で、7・8月の九州北部豪雨や猛暑、特に1月に発生した新型コロナウイルス感染拡大の影響により、入館者が一時的に大きく減少したものの、総入館者数は前年度の254,941人を上回る258,376人となった。

月別入館実績及び前年度対比は下表のとおりである。

(人)

区 分	有 料	無 料	年間パスポート会員	計
4月	12,360	3,826	4,777 (※ 1,699)	20,963
5月	18,685	5,745	6,159 (※ 1,869)	30,589
6月	13,618	3,349	2,885 (※ 689)	19,852
7月	16,927	4,671	4,716 (※ 1,191)	26,314
8月	26,621	4,740	3,626 (※ 821)	34,987
9月	24,141	6,499	5,513 (※ 952)	36,153
10月	27,319	6,201	4,086 (※ 737)	37,606
11月	13,262	3,022	2,717 (※ 401)	19,001
12月	5,704	1,964	1,835 (※ 245)	9,503
1月	3,590	1,577	2,269 (※ 378)	7,436
2月	5,034	1,406	1,531 (※ 195)	7,971
3月	4,341	1,774	1,886 (※ 268)	8,001
合 計	171,602	44,774	42,000 (※ 9,445)	258,376
前年度	161,200	48,998	44,743 (※ 9,568)	254,941
増 減	10,402	△4,224	△2,743 (※ △123)	3,435
前年対比	106.5%	91.4%	93.9% (※ 98.7%)	101.3%

※年間パスポートのうち、市内小中学生の人数

Ⅱ 役員に関する事項

(令和元年度末現在)

職名	氏名	就任年月日	備考
代表理事	三ツ野 仁	H24. 4. 1	
業務執行理事	南 知 秀	H29. 4. 1	
理 事	榊 原 潤	H26. 5. 22	
理 事	安 藤 孝 雄	H24. 4. 1	
理 事	澤 田 徹	H30. 6. 4	(R2. 3. 31 辞任)
理 事	曾我部 喬	H31. 2. 21	
理 事	田 中 秀 典	H28. 5. 25	
理 事	小 田 賢 一	H27. 10. 26	(R2. 3. 31 辞任)
監 事	石 川 重 雄	R 2. 2. 20	
監 事	松 本 一 光	H30. 11. 12	
評 議 員	松 本 千 恵 子	H29. 11. 6	
評 議 員	吉 田 篤 弘	H29. 6. 6	(R2. 3. 31 辞任)
評 議 員	四 方 信 次	H24. 4. 1	
評 議 員	開 発 治	H28. 5. 25	
評 議 員	荃 津 俊 爾	H24. 4. 1	
評 議 員	福 田 誠	H24. 4. 1	
評 議 員	坂 本 秀 章	H24. 4. 1	
評 議 員	師 岡 郁 彦	H28. 5. 25	

Ⅲ 職員に関する事項

1 主要職員

(令和元年度末現在)

職名	氏名	発令年月日	備考
事務局長	井上晴雄	平成28年4月1日	
事務局次長兼 水族館館長	菊池基弘	平成27年4月1日	
事務局次長	菊池司	平成29年4月1日	

2 職員

(令和元年度末現在)

区分	職員数	備考
職員	15	教育3人・水族館11人・法人1人
受付等任用職員	1	水族館
臨時職員	4	水族館
売店職員	2	水族館パートタイマー
合計	22	

IV 理事会・評議員会の開催状況

1 理事会

開催	開催日	議案番号	付議案件	結果
第1回	1. 5. 9	議案第1号 議案第2号 議案第3号 議案第4号	平成30年度事業報告について 平成30年度会計決算報告について 平成30年度監査報告について 評議員会の招集について	決定 決定 決定 決定
第2回	1.10.24	報告第1号 議案第1号 議案第2号 議案第3号 議案第4号	定款第22条第3項に基づく報告について 就業規則の一部を改正する規則の制定について サケのふるさと千歳水族館受付等雇用取扱規程の一部を改正する規程の制定について 平成31年度第1回補正予算について 評議員会の招集について	報告済 決定 決定 決定 決定
第3回	2. 2. 6	報告第1号 議案第1号 議案第2号 議案第3号 議案第4号	役員の辞任届の受理について 令和2年度事業計画及び収支予算について 平成31年度第2回補正予算について 職員の給与に関する規程等の一部を改正する規則の制定について 評議員会の招集について	報告済 決定 決定 決定 決定
第4回	2. 3. 26	報告第1号 報告第2号 報告第3号 議案第1号	定款第22条第3項に基づく報告について 役員の選任結果について 役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程の一部を改正する規程の制定について 平成31年度第3回補正予算について	報告済 報告済 報告済 決定

2 評議員会

開催	開催日	議案番号	付議案件	結果
第1回 (定時)	1. 5. 27	報告第1号 報告第2号 報告第3号 議案第1号 議案第2号 議案第3号	就業規則及びサケのふるさと千歳水族館管理運営規則の一部を改正する規則の制定について 職員の給与に関する規程の一部を改正する規程の制定について 平成30年度第2回補正予算について 平成30年度事業報告について 平成30年度会計決算報告について 平成30年度監査報告について	報告済 報告済 報告済 決定 決定 決定
第2回	1.11. 5	報告第1号 報告第2号 報告第3号 報告第4号	平成31年度業務執行状況及び予算執行状況について 就業規則の一部を改正する規則の制定について サケのふるさと千歳水族館受付等雇用取扱規程の一部を改正する規程の制定について 平成31年度第1回補正予算について	報告済 報告済 報告済 報告済
第3回	2. 2. 20	報告第1号 報告第2号 報告第3号 報告第4号 議案第1号 議案第2号	令和2年度事業計画及び収支予算について 平成31年度第2回補正予算について 役員の辞任届の受理について 職員の給与に関する規程等の一部を改正する規則の制定について 役員の選任について 役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程の一部を改正する規程の制定について	報告済 報告済 報告済 報告済 決定 決定

令和元年度決算報告書

I 貸借対照表

(令和2年3月31日現在)

○総括表

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	1,412,560	2,641,512	△ 1,228,952
預金	19,709,328	15,506,206	4,203,122
未収金	636,357	612,674	23,683
流動資産合計	21,758,245	18,760,392	2,997,853
2 固定資産			
基本財産			
基本財産引当資産	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
特定資産			
建物	73,832,850	75,464,515	△ 1,631,665
建物附属設備	43,167,386	49,960,853	△ 6,793,467
構築物	36,512,141	45,640,175	△ 9,128,034
什器備品	2,106,786	5,594,153	△ 3,487,367
退職給付引当資産	12,500,829	11,044,124	1,456,705
減価償却引当資産	21,760,800	19,760,800	2,000,000
修繕料引当資産	38,388,319	26,388,319	12,000,000
特定資産合計	228,269,111	233,852,939	△ 5,583,828
その他の固定資産			
建物	234,081,899	243,997,826	△ 9,915,927
建物附属設備	6,852,780	6,570,826	281,954
構築物	887,788	922,856	△ 35,068
機械装置	6,229,325	2,476,474	3,752,851
車両運搬具	0	1	△ 1
什器備品	10,314,041	7,275,100	3,038,941
地下観察護岸	4,037,184	5,046,479	△ 1,009,295
リース資産	2,563,596	6,419,844	△ 3,856,248
電話加入権	290,984	290,984	0
出資金	20,000	20,000	0
その他の固定資産合計	265,277,597	273,020,390	△ 7,742,793
固定資産合計	503,546,708	516,873,329	△ 13,326,621
資産合計	525,304,953	535,633,721	△ 10,328,768
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	20,326,389	16,929,284	3,397,105
前受金	49,711	47,687	2,024
預り金	991,144	1,586,408	△ 595,264
1年以内返済予定リース債務	1,849,176	3,856,248	△ 2,007,072
賞与引当金	4,394,981	4,094,208	300,773
流動負債合計	27,611,401	26,513,835	1,097,566
2 固定負債			
退職給付引当金	12,500,829	11,044,124	1,456,705
リース債務	714,420	2,563,596	△ 1,849,176
固定負債合計	13,215,249	13,607,720	△ 392,471
負債合計	40,826,650	40,121,555	705,095
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
地方公共団体補助金	213,868,282	220,908,815	△ 7,040,533
千歳市出損金	10,000,000	10,000,000	0
指定正味財産合計	223,868,282	230,908,815	△ 7,040,533
(うち基本財産への充当額)	(10,000,000)	(10,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(213,868,282)	(220,908,815)	(△ 7,040,533)
2 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	(1,900,000)	(1,900,000)	(0)
正味財産合計	484,478,303	495,512,166	△ 11,033,863
負債及び正味財産合計	525,304,953	535,633,721	△ 10,328,768

Ⅱ 令和元年度 正味財産増減計算書

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

○ 総括表

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	1,008	997	11	
基本財産受取利息	1,008	997	11	
② 特定資産運用益	6,016	6,000	16	
特定資産受取利息	6,016	6,000	16	
③ 事業収益	112,469,732	102,601,178	9,868,554	
教育事業収入	714,345	602,250	112,095	
水族館管理運営事業収入	110,840,887	99,996,828	10,844,059	
体験料収入	914,500	2,002,100	△1,087,600	
④ 受取会費	9,335,000	9,745,500	△410,500	
個人会員会費収入	8,195,000	8,795,500	△600,500	
法人会員会費収入	1,140,000	950,000	190,000	
⑤ 受取補助金等	111,137,042	97,020,160	14,116,882	
教育事業補助金収入	20,696,830	19,994,376	702,454	
水族館管理運営事業補助金収入	57,522,000	40,000,000	17,522,000	
管理費補助金収入	10,438,679	9,935,770	502,909	
特定資産取得補助金収入	1,439,000	1,310,567	128,433	
受取補助金等振替額	21,040,533	25,779,447	△4,738,914	
⑥ 受取助成金	2,400,000	300,000	2,100,000	
受取助成金	2,400,000	300,000	2,100,000	
⑦ 施設使用料収入	0	30,600	△30,600	
施設使用料収入	0	30,600	△30,600	
⑧ 雑収益	669,401	485,281	184,120	
受取利息収入	177	194	△17	
雑収益	669,224	485,087	184,137	
経常収益計	236,018,199	210,189,716	25,828,483	
(2) 経常費用				
① 事業費	228,859,972	211,847,951	17,012,021	
役員報酬	1,796,045	1,568,424	227,621	
給料手当	55,777,878	51,746,560	4,031,318	
賃金	9,109,859	6,266,157	2,843,702	
賞与引当繰入額	3,890,157	3,596,563	293,594	
退職給付費用	1,335,196	1,153,938	181,258	
福利厚生費	10,977,905	9,882,951	1,094,954	
報償費	1,537,316	1,507,236	30,080	
会議費	34,000	25,000	9,000	
旅費交通費	3,022,468	3,223,469	△201,001	
通信運搬費	963,774	944,179	19,595	
減価償却費	40,856,996	45,695,113	△4,838,117	
備品費	925,086	349,708	575,378	
消耗品費	8,258,344	7,079,547	1,178,797	
修繕費	9,045,689	5,325,559	3,720,130	
印刷製本費	682,825	452,628	230,197	
光熱水費	23,794,193	23,963,735	△169,542	
使用料及び賃借料	2,555,684	2,404,827	150,857	
車両経費	2,854,383	2,827,527	26,856	

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減	備 考
保険料	859,709	835,507	24,202	
手数料	2,408,339	1,889,067	519,272	
諸謝金	227,819	246,976	△19,157	
交際費	60,226	72,306	△12,080	
食糧費	444,550	443,717	833	
宣伝広告費	16,064,390	12,927,625	3,136,765	
イベント費	5,212,056	3,307,303	1,904,753	
委託料	14,009,999	12,419,324	1,590,675	
原材料費	301,041	228,092	72,949	
租税公課	10,248,069	9,887,869	360,200	
負担金	1,207,910	1,166,390	41,520	
雑費	398,066	410,654	△12,588	
② 管理費	11,151,547	10,807,069	344,478	
役員報酬	2,796,164	2,557,496	238,668	
給料手当	3,263,173	3,146,963	116,210	
賞与引当繰入額	504,824	497,645	7,179	
退職給付費用	121,509	156,629	△35,120	
福利厚生費	1,019,137	955,291	63,846	
会議費	9,525	12,756	△3,231	
通信運搬費	18,000	18,000	0	
減価償却費	584,180	623,665	△39,485	
消耗品費	54,300	52,618	1,682	
光熱水費	1,357,932	1,370,595	△12,663	
使用料及び賃借料	582,060	576,720	5,340	
保険料	39,562	39,562	0	
諸謝金	508,200	505,008	3,192	
租税公課	290,281	290,881	△600	
雑費	2,700	3,240	△540	
経常費用計	240,011,519	222,655,020	17,356,499	
当期経常増減額	△3,993,320	△12,465,304	8,471,984	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
固定資産除却損	10	0	10	
経常外費用計	10	0	10	
当期経常外増減額	△10	0	△10	
他会計振替額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△3,993,330	△12,465,304	8,471,974	
一般正味財産期首残高	264,603,351	277,068,655	△12,465,304	
一般正味財産期末残高	260,610,021	264,603,351	△3,993,330	
II 指定正味財産増減の部				
受取地方補助金(指定)	14,000,000	60,000,000	△46,000,000	
一般正味財産への振替額	21,040,533	25,779,447	△4,738,914	
当期指定正味財産増減額	△7,040,533	34,220,553	△41,261,086	
指定正味財産期首残高	230,908,815	196,688,262	34,220,553	
指定正味財産期末残高	223,868,282	230,908,815	△7,040,533	
III 正味財産期末残高	484,478,303	495,512,166	△11,033,863	

令和元年度 正味財産増減計算書

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

○ 会計区分表

(単位:円)

科 目	公益目的 事業会計	法人会計	合 計	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	1,008	0	1,008	
基本財産受取利息	1,008	0	1,008	
② 特定資産運用益	6,016	0	6,016	
特定資産受取利息	6,016	0	6,016	
③ 事業収益	112,469,732		112,469,732	
教育事業収入	714,345		714,345	
水族館管理運営事業収入	110,840,887		110,840,887	
体験料収入	914,500		914,500	
④ 受取会費	9,335,000		9,335,000	
個人会員会費収入	8,195,000		8,195,000	
法人会員会費収入	1,140,000		1,140,000	
⑤ 受取補助金等	100,576,854	10,560,188	111,137,042	
教育事業補助金収入	20,696,830		20,696,830	
水族館管理運営事業補助金収入	57,522,000		57,522,000	
管理費補助金収入		10,438,679	10,438,679	
特定資産取得補助金収入	1,317,491	121,509	1,439,000	
受取補助金等振替額	21,040,533		21,040,533	
⑥ 受取助成金	2,400,000		2,400,000	
受取助成金	2,400,000		2,400,000	
⑧ 雑収益	669,401		669,401	
受取利息収入	177		177	
雑収益	669,224		669,224	
経常収益計	225,458,011	10,560,188	236,018,199	
(2) 経常費用				
① 事業費	228,859,972		228,859,972	
役員報酬	1,796,045		1,796,045	
給料手当	55,777,878		55,777,878	
賃金	9,109,859		9,109,859	
賞与引当繰入額	3,890,157		3,890,157	
退職給付費用	1,335,196		1,335,196	
福利厚生費	10,977,905		10,977,905	
報償費	1,537,316		1,537,316	
会議費	34,000		34,000	
旅費交通費	3,022,468		3,022,468	
通信運搬費	963,774		963,774	
減価償却費	40,856,996		40,856,996	
備品費	925,086		925,086	
消耗品費	8,258,344		8,258,344	
修繕費	9,045,689		9,045,689	
印刷製本費	682,825		682,825	
光熱水費	23,794,193		23,794,193	
使用料及び賃借料	2,555,684		2,555,684	
車両経費	2,854,383		2,854,383	

(単位:円)

科 目	公益目的 事業会計	法人会計	合 計	備 考
保険料	859,709		859,709	
手数料	2,408,339		2,408,339	
諸謝金	227,819		227,819	
交際費	60,226		60,226	
食糧費	444,550		444,550	
宣伝広告費	16,064,390		16,064,390	
イベント費	5,212,056		5,212,056	
委託料	14,009,999		14,009,999	
原材料費	301,041		301,041	
租税公課	10,248,069		10,248,069	
負担金	1,207,910		1,207,910	
雑費	398,066		398,066	
② 管理費		11,151,547	11,151,547	
役員報酬		2,796,164	2,796,164	
給料手当		3,263,173	3,263,173	
賞与引当繰入額		504,824	504,824	
退職給付費用		121,509	121,509	
福利厚生費		1,019,137	1,019,137	
会議費		9,525	9,525	
通信運搬費		18,000	18,000	
減価償却費		584,180	584,180	
消耗品費		54,300	54,300	
光熱水費		1,357,932	1,357,932	
使用料及び賃借料		582,060	582,060	
保険料		39,562	39,562	
諸謝金		508,200	508,200	
租税公課		290,281	290,281	
雑費		2,700	2,700	
経常費用計	228,859,972	11,151,547	240,011,519	
当期経常増減額	△3,401,961	△591,359	△3,993,320	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
固定資産除却損	9	1	10	
経常外費用計	9	1	10	
当期経常外増減額	△9	△1	△10	
他会計振替額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△3,401,970	△591,360	△3,993,330	
一般正味財産期首残高	-	-	264,603,351	
一般正味財産期末残高	-	-	260,610,021	
II 指定正味財産増減の部				
受取地方補助金	14,000,000	0	14,000,000	
一般正味財産への振替額	21,040,533	0	21,040,533	
当期指定正味財産増減額	△7,040,533	0	△7,040,533	
指定正味財産期首残高	-	-	230,908,815	
指定正味財産期末残高	-	-	223,868,282	
III 正味財産期末残高	-	-	484,478,303	

Ⅲ 財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

① 建物・建物附属設備・構築物・機械装置・車両運搬具・什器備品・地下観察護岸
固定資産の減価償却方法は法定償却方法による。

② リース資産

所有権移転外ファイナンス・リースに係るリース資産は
リース期間を耐用年数とし、残存価格をゼロとする定額法によっている。

(2) 引当金の計上基準

① 賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

② 退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する額を計上して
いる。

(3) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税込処理方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
(基本財産)				
基本財産引当資産	10,000,000	0	0	10,000,000
小計	10,000,000	0	0	10,000,000
(特定資産)				
建物	75,464,515	0	1,631,665	73,832,850
建物附属設備	49,960,853	0	6,793,467	43,167,386
構築物	45,640,175	0	9,128,034	36,512,141
什器備品	5,594,153	0	3,487,367	2,106,786
退職給付引当資産	11,044,124	1,456,705	0	12,500,829
減価償却引当資産	19,760,800	2,000,000	0	21,760,800
修繕料引当資産	26,388,319	12,000,000	0	38,388,319
小計	233,852,939	15,456,705	21,040,533	228,269,111
合計	243,852,939	15,456,705	21,040,533	238,269,111

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
(基本財産)				
基本財産引当資産	10,000,000	(10,000,000)	(0)	(0)
小 計	10,000,000	(10,000,000)	(0)	(0)
(特定資産)				
建物	73,832,850	(73,832,850)	(0)	(0)
建物附属設備	43,167,386	(43,167,386)	(0)	(0)
構築物	36,512,141	(36,512,141)	(0)	(0)
什器備品	2,106,786	(2,106,786)	(0)	(0)
退職給付引当資産	12,500,829	(0)	(0)	(12,500,829)
減価償却引当資産	21,760,800	(19,860,800)	(1,900,000)	(0)
修繕料引当資産	38,388,319	(38,388,319)	(0)	(0)
小 計	228,269,111	(213,868,282)	(1,900,000)	(12,500,829)
合 計	238,269,111	(223,868,282)	(1,900,000)	(12,500,829)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物(特定資産)	81,583,258	7,750,408	73,832,850
建物附属設備(特定資産)	87,104,096	43,936,710	43,167,386
構築物(特定資産)	104,867,482	68,355,341	36,512,141
什器備品(特定資産)	47,128,314	45,021,528	2,106,786
特定資産計	320,683,150	165,063,987	155,619,163
建物(その他)	742,814,962	508,733,063	234,081,899
建物附属設備(その他)	283,878,314	277,025,534	6,852,780
構築物(その他)	12,572,850	11,685,062	887,788
機械装置(その他)	240,526,245	234,296,920	6,229,325
什器備品(その他)	38,668,386	28,354,345	10,314,041
地下観察護岸(その他)	100,929,561	96,892,377	4,037,184
リース資産(その他)	20,424,312	17,860,716	2,563,596
その他資産計	1,439,814,630	1,174,848,017	264,966,613
合 計	1,760,497,780	1,339,912,004	420,585,776

5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
(補助金)						
教育事業補助金	千歳市	0	20,696,830	20,696,830	0	
水族館管理運営事業補助金	千歳市	0	57,522,000	57,522,000	0	
水族館再整備事業補助金	千歳市	176,416,112	0	20,796,950	155,619,162	指定正味財産
管理費補助金	千歳市	0	10,438,679	10,438,679	0	
特定資産取得補助金	千歳市	44,249,119	14,000,000	0	58,249,119	指定正味財産
特定資産取得補助金 (退職給付引当金分)	千歳市	10,558,128	1,439,000	0	11,997,128	固定負債
市内観光施設基盤強化事業補助金	千歳市	243,584	0	243,583	1	指定正味財産
合 計		231,466,943	104,096,509	109,698,042	225,865,410	

平成27年度から補助金の内訳を正味財産ベースに変更した。

水族館再整備事業補助金には、資産取得の為の特定資産取崩収入を含めている。

(平成26年度取崩 16,040,000円、平成27年度取崩 48,000,000円)

6 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

内 容	金 額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	21,040,533
合 計	21,040,533

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位:円)

区 分	資 産 の 種 類	期首帳簿価格	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	定期預金 北洋銀行千歳中央支店	10,000,000	0	0	10,000,000
	基本財産計	10,000,000	0	0	10,000,000
特定資産	建 物	75,464,515	0	1,631,665	73,832,850
	建物附属設備	49,960,853	0	6,793,467	43,167,386
	構 築 物	45,640,175	0	9,128,034	36,512,141
	什 器 備 品	5,594,153	0	3,487,367	2,106,786
	退職給付引当資産	11,044,124	1,456,705	0	12,500,829
	減価償却引当資産	19,760,800	2,000,000	0	21,760,800
	修繕料引当資産	26,388,319	12,000,000	0	38,388,319
	特定資産計	233,852,939	15,456,705	21,040,533	228,269,111

2. 引当金の明細

賞与引当金

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	4,094,208	4,394,981	4,094,208	0	4,394,981

職員退職給付引当金

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
職員退職給付引当金	11,044,124	1,456,705	0	0	12,500,829

IV 財産目録

(令和2年3月31日現在)

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	312,869	
		現金釣り銭		1,000,000	
		売上現金		99,691	
				<現金計>	1,412,560
	預金	普通預金			
		北海道銀行千歳支店	運転資金として		4,253,944
		北央信用組合末広支店	運転資金として		450,239
		北洋銀行千歳中央支店	運転資金として		14,863,004
		北央信用組合千歳支店	運転資金として		4,433
		北海道信用金庫千歳支店	運転資金として		137,708
			<預金計>	19,709,328	
未収金	旅行代理店他20件	公益事業に供する入館料収入等の未収入分		636,357	
流動資産合計				21,758,245	
(固定資産)	基本財産	定期預金			
		北洋銀行千歳中央支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用	10,000,000	
	特定資産	建物	リニューアル 改修工事	公益目的保有財産であり、公益事業に使用している	73,832,850
			千歳市花園2丁目312番地		
		建物附属設備	リニューアル 空調換気設備他	公益目的保有財産であり、公益事業に使用している	11,601,107
			千歳市花園2丁目312番地		
			リニューアル 電気設備	公益目的保有財産であり、公益事業に使用している	12,872,891
			千歳市花園2丁目312番地		
			リニューアル 水槽配管工事	公益目的保有財産であり、公益事業に使用している	11,438,278
			千歳市花園2丁目312番地		
			リニューアル エレベーター工事	公益目的保有財産であり、公益事業に使用している	7,255,110
			千歳市花園2丁目312番地		
				<建物附属設備計>	43,167,386
		構築物	リニューアル 水槽展示工事	公益目的保有財産であり、公益事業に使用している	36,512,141
			千歳市花園2丁目312番地		
		什器備品	リニューアル パネル他	公益目的保有財産であり、公益事業に使用している	32,386
			千歳市花園2丁目312番地		
	リニューアル ロビーチェア他		公益目的保有財産であり、公益事業に使用している	1,094,057	
	千歳市花園2丁目312番地				
	Wi-Fi設備設置工事		公益目的保有財産であり、公益事業に使用している	1	
	千歳市花園2丁目312番地				
	リニューアル パソコン・プロジェクター他		公益目的保有財産であり、公益事業に使用している	4	
	千歳市花園2丁目312番地				
	リニューアル 除湿器他		公益目的保有財産であり、公益事業に使用している	305,429	
	千歳市花園2丁目312番地				
	リニューアル 放送設備	公益目的保有財産であり、公益事業に使用している	674,909		
		千歳市花園2丁目312番地			
		<什器備品計>	2,106,786		
退職給付引当資産	定期預金				
	北海道信用金庫千歳支店	従業員の退職金支払に備えたもの		12,500,829	
	普通預金				
	北洋銀行千歳中央支店	次年度以降の公益事業の設備投資のため		21,760,800	
	普通預金				
	北洋銀行千歳中央支店	公益事業の修繕のため		18,388,319	
修繕料引当資産	定期預金				
	北央信用組合末広支店	公益事業の修繕のため		20,000,000	
		<修繕料引当資産計>		38,388,319	
			<特定資産計>	228,269,111	

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
その他の 固定資産	建物	水族館 建物本体(1棟) 2,981.672㎡ 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	218,761,289
		泉沢飼育棟 (1棟) 218.4㎡ 千歳市泉沢1000番地7地先 物置等 (4棟) 千歳市花園2丁目312番地	管理目的使用に使用している 公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	12,249,693 3,019,186
			公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	51,731
			<建物計>	234,081,899
	建物附属設備	水族館 給排水電灯設備他 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	6,852,773
		泉沢飼育棟 電気・給排水設備 千歳市泉沢1000番地7地先	管理目的に使用している 公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	4 3
			<建物附属設備計>	6,852,780
	構築物	水族館 展示水槽 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	1
		泉沢飼育棟 飼育水槽他 (9台) 千歳市泉沢1000番地7地先	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	9
		地下水井戸 (1台) 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	887,778
			<構築物計>	887,788
	機械装置	水族館 濾過機械配管装置 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	3
		水族館 取水装置 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	4,728,766
		水族館 動力計装設備 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	2
		水族館 ボイラー・循環装置 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	1,183,813
		水族館 展示水槽監視システム 千歳市花園2丁目312番地	管理目的使用に使用している 公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	34,761 281,977
		水族館 テレビモニター他 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	3
			<機械装置計>	6,229,325
	什器備品	展示水槽他 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	186,913
		物置冷蔵庫ポンプ他 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	1,606,099
		サケ模型 (8台) 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	8
		顕微鏡他 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	185,071
		サモン着ぐるみ 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	836,918
		除雪機他 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	415,995
		パソコン他 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	4,567,155
		芳名板他 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	723,441
		電話主装置取替 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	1,792,441
		<什器備品計>	10,314,041	

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
	地下観察護岸	千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に使用している	4,037,184
	リース資産	発券システム他 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に使用している	2,563,596
	電話加入権	千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に使用している	290,984
	出資金	北央信用組合千歳支店 北海道信用金庫千歳支店	公益目的保有財産 公益目的保有財産	10,000 10,000
			<出資金計>	20,000
			<その他の固定資産計>	265,277,597
固定資産合計				503,546,708
資産合計				525,304,953
(流動負債)	未払金	(株)かなまる他95件	公益事業に供する消耗品購入等の未払い分 <未払金計>	20,326,389 20,326,389
	前受金	名鉄観光他5件	公益事業に供する入館料前受け分	49,711
	預り金	新さっぽろ年金事務所 千歳市 長沼町 恵庭市 札幌南税務署	役職員の社会保険料の預かり分 役職員の住民税の預かり分 役職員の住民税の預かり分 役職員の住民税の預かり分 役職員の源泉所得税の預かり分	685,945 168,900 7,600 19,400 109,299
			<預り金計>	991,144
	1年以内返済予定 リース債務	リコーリース他2件	公益事業に供する 発券システム及び水槽監視システム等	1,849,176
	賞与引当金	従業員に対するもの	従業員に対する賞与引当分	4,394,981
流動負債合計				27,611,401
(固定負債)	退職給付 引当金	従業員に対するもの	公益目的事業及び管理目的の業務に 従事する職員の退職給付金	12,500,829
	リース債務	日立キャピタル(株)	公益事業に供する 発券システム及び水槽監視システム等	714,420
固定負債合計				13,215,249
負債合計				40,826,650
正味財産				484,478,303
うち	一般正味財産			260,610,021
	指定正味財産			223,868,282

V 収支計算書

(平成31年4月1日から令和2年3月31日)

○ 総括表

(単位:円)

大 科 目	公益目的事業会計	法 人 会 計	合 計
中 科 目			
小 科 目			
I 事業活動収支の部			
1 事業活動収入			
① 基本財産運用収入	1,008	0	1,008
② 特定資産運用収入	6,016	0	6,016
③ 事業収入	112,469,732	0	112,469,732
④ 会費収入	9,335,000	0	9,335,000
⑤ 補助金等収入	93,536,321	10,560,188	104,096,509
⑥ 助成金収入	2,400,000	0	2,400,000
⑦ 施設使用料収入	0	0	0
⑨ 雑収入	669,401	0	669,401
事業活動収入計 (A)	218,417,478	10,560,188	228,977,666
2 事業活動支出			
① 事業費支出	186,374,186	0	186,374,186
② 管理費支出	0	10,438,679	10,438,679
事業活動支出計 (B)	186,374,186	10,438,679	196,812,865
事業活動収支差額(A)－(B) (C)	32,043,292	121,509	32,164,801

(単位:円)

大 科 目	公益目的事業会計	法 人 会 計	合 計	
				中 科 目
				小 科 目
Ⅱ 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
① 特定資産取崩収入	0	0	0	
投資活動収入計(D)	0	0	0	
2 投資活動支出				
① 特定資産取得支出	15,335,196	121,509	15,456,705	
② 固定資産取得支出	12,657,860	0	12,657,860	
投資活動支出計(E)	27,993,056	121,509	28,114,565	
投資活動収支差額(D)-(E) (F)	△ 27,993,056	△ 121,509	△ 28,114,565	
Ⅲ 財務活動収支の部				
1 財務活動収入				
財務活動収入計(G)	0	0	0	
2 財務活動支出				
① 長期借入金返済支出	0	0	0	
② その他の財務活動支出	3,856,248	0	3,856,248	
財務活動支出計(H)	3,856,248	0	3,856,248	
財務活動収支差額(G)-(H) (I)	△ 3,856,248	0	△ 3,856,248	
当期収支差額(C)+(F)+(I) 【A】	193,988	0	193,988	
前期繰越収支差額 【B】	197,013	0	197,013	
次期繰越収支差額 【A】+【B】	391,001	0	391,001	

V 収 支 計 算 書
(平成31年4月1日から令和2年3月31日)

○ 公益目的事業会計

(単位:円)

大 科 目	当初予算額	補 正 額	流(充)用額	予算現額 (a)	決 算 額 (b)	差 異 (a)-(b)	
							中 科 目
							小 科 目
I 事業活動収支の部							
1 事業活動収入							
① 基本財産運用収入	1,000	0	0	1,000	1,008	△ 8	
1 基本財産利息収入	1,000	0	0	1,000	1,008	△ 8	
② 特定資産運用収入	2,000	0	0	2,000	6,016	△ 4,016	
1 特定資産利息収入	2,000	0	0	2,000	6,016	△ 4,016	
③ 事業収入	96,946,000	13,932,000	0	110,878,000	112,469,732	△ 1,591,732	
1 教育事業収入	1,016,000	△ 302,000	0	714,000	714,345	△ 345	
2 水族館管理運営 事業収入	94,730,000	14,634,000	0	109,364,000	110,840,887	△ 1,476,887	
3 体験料収入	1,200,000	△ 400,000	0	800,000	914,500	△ 114,500	
④ 会費収入	9,620,000	△ 660,000	0	8,960,000	9,335,000	△ 375,000	
1 個人会員会費収入	8,820,000	△ 920,000	0	7,900,000	8,195,000	△ 295,000	
2 法人会員会費収入	800,000	260,000	0	1,060,000	1,140,000	△ 80,000	
⑤ 補助金等収入	96,005,000	△ 634,000	0	95,371,000	93,536,321	1,834,679	
1 教育事業補助金収入	22,079,000	△ 631,000	0	21,448,000	20,696,830	751,170	
2 水族館管理運営 事業補助金収入	58,606,000	0	0	58,606,000	57,522,000	1,084,000	
4 特定資産取得 補助金収入	15,320,000	△ 3,000	0	15,317,000	15,317,491	△ 491	
5 水族館再整備事業 補助金収入	0	0	0	0	0	0	
⑥ 助成金収入	300,000	2,100,000	0	2,400,000	2,400,000	0	
1 助成金収入	300,000	2,100,000	0	2,400,000	2,400,000	0	
⑦ 施設使用料収入	5,000	0	0	5,000	0	5,000	
1 施設使用料収入	5,000	0	0	5,000	0	5,000	
⑨ 雑収入	526,000	20,000	0	546,000	669,401	△ 123,401	
1 運用財産利息収入	1,000	0	0	1,000	177	823	
2 雑収入	525,000	20,000	0	545,000	669,224	△ 124,224	
事業活動収入計(A)	203,405,000	14,758,000	0	218,163,000	218,417,478	△ 254,478	

備	考
基本財産利息	
特定資産利息	
教育事業参加者負担金収入	
入館料収入、有料入館者数 171,602人	
個人会員 販売数 6,040名	
法人会員 販売数 114件	
特定資産取得支出充当	
地域づくり総合交付金	
運用財産利息	

(単位:円)

大 科 目	当初予算額	補 正 額	流(充)用額	予算現額 (a)	決 算 額 (b)	差 異 (a)-(b)	
							中 科 目
							小 科 目
2 事業活動支出							
① 事業費支出	193,738,000	△ 4,127,000	0	189,611,000	186,374,186	3,236,814	
1 教育事業費支出	23,095,000	△ 913,000	0	22,182,000	21,431,375	750,625	
役員報酬支出	450,000	0	0	450,000	449,011	989	
給料手当支出	13,827,000	0	0	13,827,000	13,714,834	112,166	
福利厚生費支出	2,468,000	0	0	2,468,000	2,355,637	112,363	
報償費支出	1,594,000	0	0	1,594,000	1,537,316	56,684	
旅費交通費支出	135,000	0	0	135,000	46,280	88,720	
通信運搬費支出	173,000	0	0	173,000	144,933	28,067	
備品費支出	0	40,000	0	40,000	39,963	37	
消耗品費支出	972,000	0	0	972,000	925,500	46,500	
印刷製本費支出	183,000	0	0	183,000	132,000	51,000	
光熱水費支出	42,000	0	0	42,000	19,420	22,580	
使用料及び賃借料支出	1,053,000	△ 567,000	0	486,000	474,850	11,150	
車両経費支出	944,000	△ 90,000	0	854,000	832,357	21,643	
保険料支出	160,000	0	0	160,000	105,431	54,569	
手数料支出	4,000	47,000	0	51,000	46,980	4,020	
食糧費支出	689,000	△ 250,000	0	439,000	395,833	43,167	
原材料費支出	11,000	0	0	11,000	0	11,000	
負担金支出	321,000	△ 93,000	0	228,000	198,910	29,090	
雑支出	69,000	0	0	69,000	12,120	56,880	
2 水族館管理運営事業費支出	170,643,000	△ 3,214,000	0	167,429,000	164,942,811	2,486,189	
役員報酬支出	1,348,000	0	0	1,348,000	1,347,034	966	
給料手当支出	44,664,000	1,150,000	0	45,814,000	45,659,607	154,393	
賃金支出	7,323,000	1,910,000	0	9,233,000	9,109,859	123,141	
福利厚生費支出	9,133,000	△ 280,000	0	8,853,000	8,622,268	230,732	

備	考
教育事業費支出の説明	
・人件費	16,519,482
職員 3人	
・車両リース等車両経費	832,357
・アクアリウムナイトツアー経費	65,324
・サーモンツアー経費	53,519
・サケふるセミナー等経費	3,240
・ジュニア・シニアリーダー活動事業経費	255,433
・自然教室経費	239,146
・冬休み体験教室経費	541,349
・体験学習経費	48,980
・青少年育成推進員経費	925,020
・緑の村キャンプ大会経費	874,173
・千歳の子どもクリスマスの集い経費	84,747
・ちとせっ子雪あそび経費	113,976
・子ども会関係経費	305,680
・その他経費	568,949
水族館管理運営事業費支出の説明	
・人件費	64,738,768
職員 12人	47,006,641
臨時職員・パートタイマー 6人	9,109,859
福利厚生費	8,622,268

(単位:円)

大 科 目	当初予算額	補 正 額	流(充)用額	予算現額 (a)	決 算 額 (b)	差 異 (a) - (b)	
							中 科 目
							小 科 目
会議費支出	40,000	0	0	40,000	34,000	6,000	
旅費交通費支出	3,640,000	△ 440,000	0	3,200,000	2,976,188	223,812	
通信運搬費支出	1,067,000	△ 140,000	0	927,000	818,841	108,159	
備品費支出	183,000	764,000	0	947,000	885,123	61,877	
消耗品費支出	8,039,000	△ 400,000	0	7,639,000	7,332,844	306,156	
修繕費支出	11,000,000	△ 1,916,000	0	9,084,000	9,045,689	38,311	
印刷製本費支出	712,000	△ 152,000	0	560,000	550,825	9,175	
光熱水費支出	25,069,000	△ 1,070,000	0	23,999,000	23,774,773	224,227	
使用料及び賃借料支出	2,720,000	△ 500,000	0	2,220,000	2,080,834	139,166	
車両経費支出	2,333,000	△ 230,000	0	2,103,000	2,022,026	80,974	
保険料支出	955,000	△ 200,000	0	755,000	754,278	722	
手数料支出	2,624,000	△ 150,000	0	2,474,000	2,361,359	112,641	
諸謝金支出	318,000	0	0	318,000	227,819	90,181	
交際費支出	100,000	0	0	100,000	60,226	39,774	
食糧費支出	50,000	0	0	50,000	48,717	1,283	
宣伝広告費支出	15,382,000	830,000	0	16,212,000	16,064,390	147,610	
イベント費支出	4,613,000	610,000	0	5,223,000	5,212,056	10,944	
委託料支出	15,744,000	△ 1,600,000	0	14,144,000	14,009,999	134,001	
原材料費支出	327,000	0	0	327,000	301,041	25,959	
租税公課支出	11,674,000	△ 1,400,000	0	10,274,000	10,248,069	25,931	
負担金支出	1,062,000	0	0	1,062,000	1,009,000	53,000	
支払利息	0	0	0	0	0	0	
雑支出	523,000	0	0	523,000	385,946	137,054	
事業活動支出計(B)	193,738,000	△ 4,127,000	0	189,611,000	186,374,186	3,236,814	
事業活動収支差額(A)-(B) (C)	9,667,000	18,885,000	0	28,552,000	32,043,292	△ 3,491,292	

備	考
水族館管理運営事業費支出の説明	
・施設維持管理経費	40,355,150
・宣伝活動経費	20,876,736
・租税公課	10,248,069
・クーポン券等手数料	2,361,359
・展示魚収集飼育経費	2,986,820
・入場券印刷経費	1,263,625
・車両リース等経費	2,022,026
・イベント開催経費	5,212,056
・電話郵便等通信費	735,854
・電気・機械設備等修繕費	9,045,689
・調査研究	311,438
・その他経費	4,785,221

(単位:円)

大 科 目	当初予算額	補 正 額	流(充)用額	予算現額 (a)	決 算 額 (b)	差 異 (a)-(b)	
							中 科 目
							小 科 目
Ⅱ 投資活動収支の部							
1 投資活動収入							
① 特定資産取崩収入	11,000,000	△ 7,700,000	0	3,300,000	0	3,300,000	
2 減価償却引当 資産取崩収入	0	0	0	0	0	0	
3 修繕料引当 資産取崩収入	11,000,000	△ 7,700,000	0	3,300,000	0	3,300,000	
投資活動収入計(D)	11,000,000	△ 7,700,000	0	3,300,000	0	3,300,000	
2 投資活動支出							
① 特定資産取得支出	15,320,000	17,000	0	15,337,000	15,335,196	1,804	
1 退職給付引当 資産取得支出	1,320,000	17,000	0	1,337,000	1,335,196	1,804	
2 減価償却引当 資産取得支出	2,000,000	0	0	2,000,000	2,000,000	0	
3 修繕料引当 資産取得支出	12,000,000	0	0	12,000,000	12,000,000	0	
② 固定資産取得支出	1,490,000	11,168,000	0	12,658,000	12,657,860	140	
1 建物購入支出	0	1,188,000	0	1,188,000	1,188,000	0	
2 建物附属設備取得支出	0	1,100,000	0	1,100,000	1,100,000	0	
3 機械装置取得支出	0	4,536,000	0	4,536,000	4,536,000	0	
4 什器・備品購入支出	1,490,000	4,344,000	0	5,834,000	5,833,860	140	
投資活動支出計(E)	16,810,000	11,185,000	0	27,995,000	27,993,056	1,944	
投資活動収支差額(D)-(E) (F)	△ 5,810,000	△ 18,885,000	0	△ 24,695,000	△ 27,993,056	3,298,056	
Ⅲ 財務活動収支の部							
1 財務活動収入							
財務活動収入計(G)	0	0	0	0	0	0	
2 財務活動支出							
① 借入金返済支出	0	0	0	0	0	0	
1 借入金返済支出	0	0	0	0	0	0	
② その他の財務活動支出	3,857,000	0	0	3,857,000	3,856,248	752	
1 1年以内リース債務	3,857,000	0	0	3,857,000	3,856,248	752	
財務活動支出計(H)	3,857,000	0	0	3,857,000	3,856,248	752	
財務活動収支差額(G)-(H) (I)	△ 3,857,000	0	0	△ 3,857,000	△ 3,856,248	△ 752	
当期収支差額 (C)+(F)+(I) 【A】	0	0	0	0	193,988	△ 193,988	
前期繰越収支差額 【B】	0	0	0	0	197,013	△ 197,013	
次期繰越収支差額 【A】+【B】	0	0	0	0	391,001	△ 391,001	

V 収支計算書

(平成31年4月1日から令和2年3月31日)

○ 法人会計

(単位:円)

大 科 目	当初予算額	補 正 額	流(充)用額	予算現額	決 算 額	差 異
中 科 目						
小 科 目						
(a)	(b)	(a) - (b)				
I 事業活動収支の部						
1 事業活動収入						
⑤ 補助金等収入	11,266,000	3,000	0	11,269,000	10,560,188	708,812
3 管理費補助金収入	11,147,000	0	0	11,147,000	10,438,679	708,321
4 特定資産取得補助金収入	119,000	3,000	0	122,000	121,509	491
事業活動収入計(A)	11,266,000	3,000	0	11,269,000	10,560,188	708,812
2 事業活動支出						
② 管理費支出	11,147,000	0	0	11,147,000	10,438,679	708,321
1 一般管理費支出	11,147,000	0	0	11,147,000	10,438,679	708,321
役員報酬支出	3,687,000	△ 175,000	0	3,512,000	3,041,269	470,731
給料手当支出	3,428,000	125,000	0	3,553,000	3,515,713	37,287
福利厚生費支出	1,032,000	50,000	0	1,082,000	1,019,137	62,863
会議費支出	20,000	0	0	20,000	9,525	10,475
通信運搬費支出	18,000	0	0	18,000	18,000	0
消耗品費支出	55,000	0	0	55,000	54,300	700
光熱水費支出	1,422,000	0	0	1,422,000	1,357,932	64,068
使用料及び賃借料支出	583,000	0	0	583,000	582,060	940
保険料支出	48,000	0	0	48,000	39,562	8,438
諸謝金支出	509,000	0	0	509,000	508,200	800
租税公課支出	332,000	0	0	332,000	290,281	41,719
雑支出	13,000	0	0	13,000	2,700	10,300
事業活動支出計(B)	11,147,000	0	0	11,147,000	10,438,679	708,321
事業活動収支差額(A)-(B) (C)	119,000	3,000	0	122,000	121,509	491

備	考
退職給付引当費用分	
一般管理費支出の説明	
・人件費	7,576,119
常勤役員 1人	3,125,946
理事 評議員 報酬	347,200
職員 1人	4,102,973
・光熱水費等施設管理費	1,357,932
・財務会計システムリース料	582,060
・税理士報酬等経費	508,200
・その他の経費	414,368

(単位:円)

大 科 目	当初予算額	補 正 額	流(充)用額	予算現額 (a)	決 算 額 (b)	差 異 (a) - (b)	
							中 科 目
							小 科 目
II 投資活動収支の部							
1 投資活動収入							
投資活動収入計(D)	0	0	0	0	0	0	
2 投資活動支出							
① 特定資産取得支出	119,000	3,000	0	122,000	121,509	491	
1 退職給付引当 資産取得支出	119,000	3,000	0	122,000	121,509	491	
投資活動支出計(E)	119,000	3,000	0	122,000	121,509	491	
投資活動収支差額(D) - (E) (F)	△ 119,000	△ 3,000	0	△ 122,000	△ 121,509	△ 491	
当期収支差額(C) + (F) 【A】	0	0	0	0	0	0	
前期繰越収支差額 【B】	0	0	0	0	0	0	
次期繰越収支差額 【A】 + 【B】	0	0	0	0	0	0	

備 考

VI 収支計算書に対する注記

○ 総括

1 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、仮払金、未払金、前受金、預り金、仮受金を含めることにしている。なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位:円)

科目	前期末残高	当期末残高
現金預金	18,147,718	21,121,888
未収金	612,674	636,357
合計	18,760,392	21,758,245
未払金	16,929,284	20,326,389
前受金	47,687	49,711
預り金	1,586,408	991,144
合計	18,563,379	21,367,244
次期繰越収支差額	197,013	391,001

令和元年度監査報告書

公益財団法人千歳青少年教育財団


代表理事 三ツ野 仁 殿

令和2年4月28日

公益財団法人千歳青少年教育財団

監 事 松本 一光 

公益財団法人千歳青少年教育財団

監 事 石川 重雄 

監事は、平成31年4月1日から令和2年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

監事は、理事及び事務局職員と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会に出席し、理事及び事務局職員からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決算書類等を開覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

参 考 资 料

(参考資料)

令和元年度 正味財産増減計算書内訳表

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

公益財団法人 千歳青少年教育財団

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				法人会計 (管理費)	内部取引 消 去	合 計 (A)	平成30年度 決 算(B)	増 減 (A-B)
	教育事業 (公1)	水族館事業 (公2)	共通	小計					
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
① 基本財産運用益	0	0	1,008	1,008	0	0	1,008	997	11
基本財産受取利息	0	0	1,008	1,008	0	0	1,008	997	11
② 特定資産運用益	0	6,016	0	6,016	0	0	6,016	6,000	16
特定資産受取利息	0	6,016	0	6,016	0	0	6,016	6,000	16
③ 事業収益	714,345	111,755,387	0	112,469,732	0	0	112,469,732	102,601,178	9,868,554
教育事業収入	714,345	0	0	714,345	0	0	714,345	602,250	112,095
水族館管理運営事業収入	0	110,840,887	0	110,840,887	0	0	110,840,887	99,996,828	10,844,059
体験料収入	0	914,500	0	914,500	0	0	914,500	2,002,100	△ 1,087,600
④ 受取会費	0	9,335,000	0	9,335,000	0	0	9,335,000	9,745,500	△ 410,500
個人会員会費	0	8,195,000	0	8,195,000	0	0	8,195,000	8,795,500	△ 600,500
法人会員会費	0	1,140,000	0	1,140,000	0	0	1,140,000	950,000	190,000
⑤ 受取補助金等	21,074,887	79,501,967	0	100,576,854	10,560,188	0	111,137,042	97,020,160	14,116,882
教育事業補助金収入	20,696,830	0	0	20,696,830	0	0	20,696,830	19,994,376	702,454
水族館運営事業補助金収入	0	57,522,000	0	57,522,000	0	0	57,522,000	40,000,000	17,522,000
管理費補助金	0	0	0	0	10,438,679	0	10,438,679	9,935,770	502,909
地方公共団体補助金(退職給付分)	378,057	939,434	0	1,317,491	121,509	0	1,439,000	1,310,567	128,433
受取補助金等振替額	0	21,040,533	0	21,040,533	0	0	21,040,533	25,779,447	△ 4,738,914
⑥ 受取助成金	0	2,400,000	0	2,400,000	0	0	2,400,000	300,000	2,100,000
受取助成金	0	2,400,000	0	2,400,000	0	0	2,400,000	300,000	2,100,000
⑦ 施設使用料収入	0	0	0	0	0	0	0	30,600	△ 30,600
⑧ 受取寄附金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑨ 雑収益	20,200	649,201	0	669,401	0	0	669,401	485,281	184,120
運用財産利息収入	0	177	0	177	0	0	177	194	△ 17
雑収益	20,200	649,024	0	669,224	0	0	669,224	485,087	184,137
経常収益計	21,809,432	203,647,571	1,008	225,458,011	10,560,188	0	236,018,199	210,189,716	25,828,483
(2) 経常費用									
① 事業費	22,265,293	206,594,679	0	228,859,972	0	0	228,859,972	211,847,951	17,012,021
役員報酬	449,011	1,347,034	0	1,796,045	0	0	1,796,045	1,568,424	227,621
給料手当	12,851,714	42,926,164	0	55,777,878	0	0	55,777,878	51,746,560	4,031,318
賃金	0	9,109,859	0	9,109,859	0	0	9,109,859	6,266,157	2,843,702
賞与引当繰入額	887,010	3,003,147	0	3,890,157	0	0	3,890,157	3,596,563	293,594
退職給付費用	378,057	957,139	0	1,335,196	0	0	1,335,196	1,153,938	181,258
福利厚生費	2,355,637	8,622,268	0	10,977,905	0	0	10,977,905	9,882,951	1,094,954
報償費	1,537,316	0	0	1,537,316	0	0	1,537,316	1,507,236	30,080
会議費	0	34,000	0	34,000	0	0	34,000	25,000	9,000
旅費交通費	46,280	2,976,188	0	3,022,468	0	0	3,022,468	3,223,469	△ 201,001
通信運搬費	144,933	818,841	0	963,774	0	0	963,774	944,179	19,595
減価償却費	431,971	40,425,025	0	40,856,996	0	0	40,856,996	45,695,113	△ 4,838,117
備品費	39,963	885,123	0	925,086	0	0	925,086	349,708	575,378
消耗品費	925,500	7,332,844	0	8,258,344	0	0	8,258,344	7,079,547	1,178,797
修繕費	0	9,045,689	0	9,045,689	0	0	9,045,689	5,325,559	3,720,130
印刷製本費	132,000	550,825	0	682,825	0	0	682,825	452,628	230,197
光熱水費	19,420	23,774,773	0	23,794,193	0	0	23,794,193	23,963,735	△ 169,542
使用料及び賃借料	474,850	2,080,834	0	2,555,684	0	0	2,555,684	2,404,827	150,857
車両経費	832,357	2,022,026	0	2,854,383	0	0	2,854,383	2,827,527	26,856

科 目	公益目的事業会計				法人会計 (管理費)	内部取引 消 去	合 計 (A)	平成30年度 決 算(B)	増 減 (A-B)
	教育事業 (公1)	水族館事業 (公2)	共通	小計					
保険料	105,431	754,278	0	859,709	0	0	859,709	835,507	24,202
手数料	46,980	2,361,359	0	2,408,339	0	0	2,408,339	1,889,067	519,272
諸謝金	0	227,819	0	227,819	0	0	227,819	246,976	△ 19,157
交際費	0	60,226	0	60,226	0	0	60,226	72,306	△ 12,080
食糧費	395,833	48,717	0	444,550	0	0	444,550	443,717	833
広告宣伝費	0	16,064,390	0	16,064,390	0	0	16,064,390	12,927,625	3,136,765
イベント費	0	5,212,056	0	5,212,056	0	0	5,212,056	3,307,303	1,904,753
委託料	0	14,009,999	0	14,009,999	0	0	14,009,999	12,419,324	1,590,675
原材料費	0	301,041	0	301,041	0	0	301,041	228,092	72,949
租税公課	0	10,248,069	0	10,248,069	0	0	10,248,069	9,887,869	360,200
負担金	198,910	1,009,000	0	1,207,910	0	0	1,207,910	1,166,390	41,520
支払利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑費	12,120	385,946	0	398,066	0	0	398,066	410,654	△ 12,588
②管理費					11,151,547	0	11,151,547	10,807,069	344,478
役員報酬					2,796,164	0	2,796,164	2,557,496	238,668
給料手当					3,263,173	0	3,263,173	3,146,963	116,210
賞与引当繰入額					504,824	0	504,824	497,645	7,179
退職給付費用					121,509	0	121,509	156,629	△ 35,120
福利厚生費					1,019,137	0	1,019,137	955,291	63,846
会議費					9,525	0	9,525	12,756	△ 3,231
通信運搬費					18,000	0	18,000	18,000	0
減価償却費					584,180	0	584,180	623,665	△ 39,485
消耗品費					54,300	0	54,300	52,618	1,682
光熱水費					1,357,932	0	1,357,932	1,370,595	△ 12,663
使用料及び賃借料					582,060	0	582,060	576,720	5,340
保険料					39,562	0	39,562	39,562	0
諸謝金					508,200	0	508,200	505,008	3,192
租税公課					290,281	0	290,281	290,881	△ 600
雑費					2,700	0	2,700	3,240	△ 540
経常費用計	22,265,293	206,594,679	0	228,859,972	11,151,547	0	240,011,519	222,655,020	17,356,499
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 455,861	△ 2,947,108	1,008	△ 3,401,961	△ 591,359	0	△ 3,993,320	△ 12,465,304	8,471,984
当期経常増減額	△ 455,861	△ 2,947,108	1,008	△ 3,401,961	△ 591,359	0	△ 3,993,320	△ 12,465,304	8,471,984
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用									
固定資産除却損	0	9	0	9	1	0	10	0	10
経常外費用計	0	9	0	9	1	0	10	0	10
当期経常外増減額	0	△ 9	0	△ 9	△ 1	0	△ 10	0	△ 10
他会計振替額									0
当期一般正味財産増減額	△ 455,861	△ 2,947,117	1,008	△ 3,401,970	△ 591,360	0	△ 3,993,330	△ 12,465,304	8,471,974
一般正味財産期首残高	-	-	-	-	-	0	264,603,351	277,068,655	△ 12,465,304
一般正味財産期末残高	-	-	-	-	-	0	260,610,021	264,603,351	△ 3,993,330
II 指定正味財産増減の部									
受取補助金等									
受取地方公共団体補助金	0	14,000,000	0	14,000,000	0	0	14,000,000	60,000,000	△ 46,000,000
一般正味財産への振替額	0	21,040,533	0	21,040,533	0	0	21,040,533	25,779,447	△ 4,738,914
当期指定正味財産増減額	0	△ 7,040,533	0	△ 7,040,533	0	0	△ 7,040,533	34,220,553	△ 41,261,086
指定正味財産期首残高	-	-	-	-	-	0	230,908,815	196,688,262	34,220,553
指定正味財産期末残高	-	-	-	-	-	0	223,868,282	230,908,815	△ 7,040,533
III 正味財産期末残高	-	-	-	-	-	0	484,478,303	495,512,166	△ 11,033,863